

鈴鹿市立天栄中学校 第1回学校運営協議会 報告書

1 日時 令和6年5月17日(金) 16:00~18:00

2 場所 天栄中学校被服室

3 議事

(1) 委員の任命及び委員長・副委員長の承認

学校長より、委員長に 城ノ口 典子 氏、副委員長に 宮崎 一美 氏 が推挙され、承認された。その後、各委員及び学校代表より自己紹介がなされた。

(2) 開会挨拶(学校運営協議会委員長)

小学校で面識のあった生徒が実習生となり、先日声をかけてくれた。成長した姿に感慨深かった。未来ある子どもたちに関わるということは大変ありがたい。子供たちのためにできることを頑張っていきたいと考えている。

(3) 各学年主任から学年のようす等について

各学年主任より、学年のようすの報告がなされた。

① 1学年主任より

特別支援籍の生徒が多い学年である。どの生徒も、共に様々な行事に参加し、日々の学校生活を楽しむことができるようにするには…ということ、学年全体で考え、実現させていきたい。

② 2学年主任より

昨年度末、自分のクラスに愛着も持っていた多くの生徒たちが、新しいクラスで前向きに頑張っている。あたたかい子たちが多い学年である。学習も頑張りたいが、まずは彼らの良さを大切にしていきたい。

③ 3学年主任より

元気な生徒が多いが、3年生になり、少しずつメリハリがついてきているように感じる。最高学年としての姿を後輩に見せようと、生徒と教師が一丸となって取り組んでいるところである。生徒が明るい未来に向かって進路選択していくことができるようサポートしていきたい。

(4) 生徒数・学級数・教職員数

学校長より、令和6年度の学校体制について報告がなされた。

(5) 年間行事計画及び学校運営協議会開催日程等

主幹教諭より、令和6年度年間行事計画について報告がなされた。次に、学校長より、学校運営協議会開催日程の報告がなされた。また、令和6年度の土曜の教育活動について説明がなされ、廃品回収への協力依頼がなされた。その後、質疑応答がなされた。

(質疑応答概要)

・PTA 役員会及び地区委員会の日程の再確認

(6) 学校経営方針等審議

学校長より、学校経営方針について説明がなされた。その後、質疑応答がなされた。

① めざす学校像

- ・「つながり」と「まなび」のある学校、地域に開かれ信頼される学校を軸に学校づくりを進めていく。
- ・「学校の周りに地域がある」のではなく、「地域の中に学校はある」という認識をも

ち、進めていく。

②めざす生徒像

- ・ 学び続ける子どもは崩れない。学びの中で生徒同士の信頼できるつながりをつくりたいと考えた。
- ・ 他者に自分の考えを表現できるような関係づくりが大切と考えた。
- ・ こんな自分になりたいという夢に向かって生徒が主体的になる場面をこちらが提供し、チャレンジさせたいと考えた。

③学校経営基本方針

- ・ 人権感覚は教育活動のあらゆる場面で培われるものであり、教職員が人権を大切にしているということを生徒に伝えていきたいと考えた。
- ・ 誰ひとり取り残さない授業づくり一斉授業からいかに学ばせるか
- ・ わからなさつまづきをどのように寄り添うのかについて教員も研修をしている。グループにすることでさまざまな意見に触れて深く学ぶことができる
- ・ 小中「育ち」の部会、「学び」の部会、授業についても連携。
- ・ 鈴鹿市が進めていきたい非認知能力の育成。今年度から。これらは学校のあらゆる場面でつくもの。意識して価値つけていこうとする。

④学校教育活動の推進計画

- ・ 校区小学校との連携をし、小学校時から「協働的な学び」を意識した授業を続ける。「協働的な学び」を進めることで非認知能力も育成され则认为た。
- ・ 学び合う授業づくりを進めるには、授業者のファシリテータースキルが必要である。
- ・ 発達支持的生徒指導を実践し、トラブルが起きる前段階で生徒を支え、予防していくことが大切である。
- ・ 承認活動を実施し、生徒の自己肯定感を上げていく。昨年度までの「天栄アプリシエイター」「クラスの中の自分」といった取組に加え、「綴り作文」（自分の感じたことや思い、後には悩みを文にして伝え、仲間とともに考える。）も実施していく。
- ・ レジリエンス（心の回復力。耐えて折れてしまわず、しなやかに受け止める力、はね返す力。）を養う取組を実践していく。
- ・ 大きな事故につながる前に自分の身を守れるよう、危険予知回避能力を育成したい。

（質疑応答概要）

- ・ 長期欠席者に対する個々の特性に合わせた丁寧な対応の要請
- ・ 「わからないと言えない」「グループに参加しづらい」生徒に対する教師の配慮の必要性
- ・ 近隣の工事箇所と通学路の安全性の把握
- ・ 左側通行、ヘルメットの着用等の交通ルールの指導方法の見直し
- ・ 令和5年度における教職員の超過勤務の増加の原因
- ・ 今後の部活動の方向性の確認及び生徒にとってより良い部活動の在り方の検討

（7）学校配当予算

主幹教諭より、令和6年度の配当予算について報告がなされた。その後、質疑応答がなされた。

（質疑応答概要）

- ・ デジタル本と手に取って読む従来の本の良さの価値について

（8）その他

- ・ 駐車場不足解消の必要性